

# 平成26年度 柏崎市刈羽郡音楽教育研究部 活動報告

部長 小嶋 美江子

## 1 研究活動方針

研究主題「音楽のよさを感じ、表現を高め合う子」のもと、二つの事業「合唱指導講習会」「小・中合同音楽会」を中心として、豊かな音楽表現について指導方法を研修し、主体的に表現する児童・生徒の育成を目指す。

## 2 研究の概要と成果

### (1) 合唱指導講習会 (参加者 36名)

○ねらい 合唱指導法について、講師によるモデル児童生徒の指導を通して研修する。

○日時・会場 平成26年6月11日(水) 第三中学校

○講師 富澤 裕 様 (合唱指導者)

○モデル学級 鯨波小学校3～6年生 教材曲「U&I」  
第三中学校2年生 教材曲「名付けられた葉」

○成果 富澤先生のポイントを押さえた指導は、歌うことに対する意欲を高めながら、子どもたちの声をみるみる変えていった。発声法や楽曲分析、表現の工夫など、11月の小中合同音楽会に向けた各校の指導に大いに役立つ研修となった。



### (2) 第57回小・中合同音楽会

○日時・会場 平成26年11月5日(水) 午前の部9:30 午後の部13:30  
11月6日(木) 午前の部9:30 午後の部13:30

○参加者 柏崎市刈羽郡全小・中学校の児童・生徒

○成果 柏崎市文化会館アルフォーレで2日間にわたる午前・午後4ステージ発表を行った。音響効果抜群の大ホールでの演奏発表は、どの学校の児童・生徒も大きな満足感を得られる体験となった。同一中学校区の小・中学校を同じステージにしたプログラム編により、近隣校相互の発表のよさを実感でき、小中連携においても意義ある音楽会となっている。多くの聴衆から、年々発表内容が充実し、演奏技術の向上も図られているとの評価を受けている。児童生徒の音楽への関心、表現意欲向上に大いに寄与している事業である。

### (3) 音楽指導実践研修会

○日時・会場 平成26年12月26日(金) 柏崎市文化会館アルフォーレ大練習室

○内容 「能を教材とした体験型音楽授業の提案」

○講師 上越教育大学准教授 玉村 恭 様



○成果 「能」は日頃あまりなじみのない音楽であるが、最も有名な「羽衣」を題材に、映像鑑賞と実際の体験を交互にした研修で大変わかりやすく日本の伝統音楽の特徴を学ぶことができた。日頃の授業では映像での鑑賞が中心になりがちであるが、教師自身が、「謡」「太鼓」「大鼓小鼓」「動き」と実際に演奏したり、具体的な動きをつけたりしてみたことで、授業でも活用

できる有意義な研修となった。

## 3 反省と次年度へ向けて

数年来実施している合唱指導講習会は大変好評で、次年度も是非同じ講師を招聘してほしいという声が上がっている。小中合同音楽会は、昨年度以上のレベルアップが図られた演奏内容であった。2日間とも鑑賞マナーも大変よく、児童生徒の音楽に対する意識の高まりが感じられた。また、教育センター研修講座とのタイアップで「能」を教材とした体験型研修が実施できた。中3で扱われる教材ではあるが、日本の伝統音楽を小中の教師自身が体験できた貴重な研修機会であった。